

第2回 糸島市学校規模適正化検討委員会 会議録

日 時：平成28年12月26日（月）13：00～15：00

場 所：糸島市役所 11、12号会議室

出席者：田上委員、柚木委員、石川委員、浦委員、梅田委員、山本委員、
河原委員、阿部委員、北野委員、岩下委員、有働委員、佐藤委員
泊教育部長、平野教育総務課長、石硯学校教育課長、高田教育総
務課長補佐、井手教育総務課主査

会議次第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 協議・検討
 - (1) 公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きについて
 - (2) 小中学校の通学区域の現状について 【資料1】
・糸島市立小中学校の通学区域を定める規則
 - (3) 学校規模が及ぼす学校教育への影響について 【資料2】
 - (4) アンケートの実施について 【資料3】
 - (5) 意見交換
- 4 その他
 - (1) 今後の進め方について
 - (2) その他
- 5 閉会

1 開会

(略)

2 委員長あいさつ

(略)

3 協議・検討

(1) 公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きについて

(事務局) (1)「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」について説明

(委員長) ただ今の手引きの説明について何か不明な点等ありましたら。
(特になし)

(委員長) ないようでしたら先に進めたいと思います。
協議・検討の2つ目になりますが、「小中学校の通学区域の現状について」で、
糸島市立小中学校の通学区域を定める規則についてお願いします。

(2) 小中学校の通学区域の現状について

(事務局) (2)「小中学校の通学区域の現状」について説明

(委員長) 何か質問等がありますか。
(特になし)

(委員長) いいでしょうか。このねじれ現象が起こっている経緯を教えてください。

(事務局) いずれの学校についても、ここ20年ほどの間に新設した小学校で、新設するにあたって通学区域を見直した学校になります。東風小学校が平成18年に、南風小学校が平成12年に分離・新設した学校になります。

- (委員長) 他にありますか。よろしければ次に移ります。
「学校規模が及ぼす学校教育への影響について」を事務局から説明をお願いします。

(3) 学校規模が及ぼす学校教育への影響について

- (事務局) (3)「学校規模が及ぼす学校教育への影響」について説明
- (A委員) 学校の規模が学校教育に及ぼす影響についてですが、表の各項目については文部科学省が示したものです。何か糸島市独自で追加したものはありますか。
- (事務局) 糸島市独自のもではなく、一般的なものを国が整理したものになります。
- (A委員) 糸島市の中で顕著なものがありますか。大規模だったらとか、小規模だったらとか。学校によって違うとは思いますが。福岡市だと都心の中心部で小規模、糸島だったら周辺地になり、福岡市だったら小規模でも商店街などがあります。一概に小規模といっても違ってくると思います。
- (事務局) 学校と関わる中で、大規模校というよりはむしろ小規模校の中では部活動の選択肢がないということで、例えば、サッカーをしたいけれど、自分の中学校にはサッカー部がないので、区域外就学をするなどがあります。クラス替えができない場合、小学校からずっと同じクラスで、トラブルなどでクラス替えをしたほうがよい事例がありますが、単学級だとクラス替えができないデメリットがあります。具体的に統計を取っているわけではありません。
- (委員長) 他に質問等がありますか。
(特になし)

- (委員長) それでは次の「アンケートの実施について」の説明をお願いします。

(4) アンケートの実施について、(5) 意見交換

- (事務局) (4)「アンケートの実施」について説明
- (委員長) ただ今、説明がありましたが、まずは全体について何かありますか。
- (B委員) 対象教員については年齢を限定されますか。
- (事務局) 特に指定はせずに、それぞれの学校で10人お願いしたいと考えています。
- (C委員) 中学校2年の1クラスというのは全部の中学校に1クラスだけということになりますか。
- (事務局) 各中学校の2年生で1クラスということです。5クラスあっても1クラスのみを考えています。どのクラスにするかは学校にお任せをしたいと思います。
- (C委員) 例えば、1クラス40人とすると、6校で240人となりますが、30人となると(180人になる)。姫島分校でもアンケートを取りますか。
- (事務局) 姫島分校は小学校の教員と合わせて10人で考えています。
- (C委員) 小規模校にとる数だけで標準として扱っていいのか。例えば、前原中学校は適正規模校だが、アンケート結果から適正規模校の保護者はどのように考えている、35人の結果から適正規模校の意見として成り立つのか。(中学校が)200人となっているが、200人を分割した時に大規模校、適正規模校、小規模校と細分化してみた時に一般的にそれが各規模校の保護者の考えだと言えるのでしょうか。
- (事務局) サンプル調査の数でお尋ねですが、統計上は100人の規模であれば、95%の信頼率を求めるには80人ぐらいのサンプルがあればいいという基準があります。今回、全体の意見を取りまとめて、今、糸島市の中では小規模校が多い状況にあるので、全体の集計をした時には小規模校の意見が反映さ

れたようになってしまうと考えます。小規模校の学校、適正規模校の学校、大規模校の学校のクロス集計をしていきたい。適正規模校であれば、2校あれば信頼率は高いと思います。1校であれば厳しい。

(C委員) 中学校であれば、適正規模校は前原中学校の1校だけになるので、ほんとに適正といえるのか。その意見を適正規模校の意見として出せるのか。せめて100人くらいあればいいと思いますが。

(事務局) 今ご指摘の前原中学校の分については、検討させていただきます。

(D委員) 同じような質問になるが、4クラスある学校でも1クラスしかとらない。数値で言えば25パーセントしかとらない。2クラス分とれば適正となる。小学校でも1クラスのみになりますか。

(事務局) 分母となる数の考え方ですが、委員が言われたように適正規模校を母体と考えた場合に、100サンプルあれば80サンプルぐらいでいいんですが、小規模校の校数が多いので学校ごとに信頼率を考えるのではなく、小規模校全体で分母として考えるので、信頼度としては達成できると考えています。

(D委員) 子供が在籍しているのが大規模校ですが、大規模校の保護者としては少ないのではないかと思います。数や手間の問題もあると思うが、せっかくアンケートを取るのであれば、1クラスや教員10人に限定するのではなく、学年全クラスの保護者にアンケートをとるのはどうでしょうか。せっかくとるアンケートなので、全体でとればいいのではと思うのですが。費用の問題、手間の問題、数の問題はあると思います。これら3つを考えると手間だからということで数を絞るのであれば、アンケートの意味合いが違ってくるのではないかと思います。

(C委員) 南風小、東風小は(中学生になると学校が)分かれるが、その子供はどう思っているのか、保護者はどう思っているのかは今後、適正規模に関しては必要ないのでしょうか。

(事務局) 今回の第1段階のアンケートでは、規模だけで取らせていただこうと思います。具体的な通学区の変更などの話になってくるかと思いますが、そこは分けて考えたいと思います。

(委員長) その前の質問に対する回答はどうですか。

(事務局) 確かに多くとったほうがという意見は分かりますが、実際学年すべて取るとなると、相当な数になります。先ほど言いましたように、サンプル調査としては意見の信頼性は達成できるサンプル数になっているので、今回は1クラスということできたいと思います。ただし、前原中学校は検討させていただきたいと思います。

(C委員) 業者に委託するのですか。

(事務局) 事務局職員で行います。

(E委員) 教員の10人はどのように決めるのか。

(事務局) 決め方については学校に任せします。

(E委員) 選び方によって出てくる結果はだいぶ異なってくる、保護者はそうでもないと思うが。統計学上の計算方法がある。市議会でも少ないのではと思われるものでも、そういう(統計学上の計算によるもの)答えになる。ただ、一般的にはたくさん取ったほうがいいのではというのが一般的な考え方になる。統計学上の正確性はどうでしょうか。

(B委員) 新採の教員とベテランの教員でも違ってきます。

(事務局) 教員のほうは考えさせていただきたい。検討結果については、後日、委員の皆さんに郵送でお送りし、ご意見があればお伺いしたいと思います。(学校へ)配布前には結論を出します。

(F委員) 小規模校にも幅があり、1クラス14、15人の学校もあれば、40人弱

の学校もあります。それが同じ土台で取り扱われることに違和感があります。なので、何人くらいの小規模校の保護者はこう思っている、このくらいの保護者はこう思っているという相関も見られたらよりいいと思います。

(E委員) 小規模校を重点的にアンケートしたほうがいいのではないかと思います。大規模、適正規模、小規模と同じ基準でのアンケートではなく、小規模校はどう思っているのかが一番大事な部分ではないでしょうか。そちらのほうが検討しやすいのではないかと考えます。全部同じ基準だと答えの出し方がちょっと違うのではないかと思います。小規模校をもう少し細分化したほうがいいのではないかと思います。

(F委員) 要望意見ですが、設問5に、「現在の学校配置（学校数、通学区の範囲）は適正だと思いますか」とありますが、（今回の会議に際し配布した資料に）通学区の地図があるが、一般的に保護者は通学区を知らないと思います。回答するためには分かるような資料が必要ではないでしょうか。

(D委員) アンケートの回答がどれくらい集まればよしとするのですか。

(事務局) 今回は学校を通してアンケートをするので回収率としては非常に高いと思っています。1000人規模であれば、300人でも信頼度は高いと出ているので、今回は特に学校を通して実施しますので、90パーセント台の回収率になると考えています。

(委員長) 先ほどの小規模校についての回答をお願いします。

(事務局) 設問1で「1ちょうどよい、2もっと多い方がよい、3もっと少ない方がよい、4わからない」とあり、小規模校であれば、もうちょっと多いという意見があるのではと思いますが、設問1ーアで「主な理由は何でしょう」とありますので、選択肢1から10まで回答項目を設けていますが、例えば、「もっと多い方がよい」という答えについては、5から9が答えになるのではないかと、「もっと少ない方がよい」という答えについては、1から4が答えになるのではないかと思います。小規模がいいという方は1から4、大規模がいいという方は5から9というような両方の理由を選択肢に設けているので、小規模は小規模で設問1ーアについてはどういった意見をもっているのかといった集計をするので、項目で意見を拾えるのではないかと事務局としては考えています。

(B委員) 今の設問1ーアで、選択肢が少ない方は4つ、多い方は5つあるが、意図的に多い方をつけるようになっているのかと思いましたが。

(事務局) 意図はありません。

(B委員) 全体的に、頭の番号にマルをつけてくださいという文言がないので、これは必要だと思います。それから、「思いますか」を「思われますか」に改めたほうがいい。「何でしょう」を「何でしょうか」に。もう一つは、中学校は学習発表会よりも合唱コンクールの方が盛り上がるようなので、変えたほうがいいと思う。設問5の選択肢で「学校によっては大きな課題が生じており、」とあるが、「学校によっては」はいかにも特定の学校を指しているかの印象があるが、「校区によっては」とか「区域によっては」の方がいいと思います。

(A委員) 「保護者の皆様へ」というところは「糸島市でも、大半の学校で児童生徒数が減少傾向にあります。」とありますが、小規模校をイメージしているようなところがありますが、大規模校もあるので、糸島市全体として小規模校も大規模校も含めて適正な学校の規模を考えていくということが明記されていれば、当事者感があるのではないかと感じました。次に「糸島市の学校配置についておたずねします」とありますが、ほかの学校のことはわからないので、「あなたの学校について」とか「ご自身のお子さんの」とかのほうが答えやすい。糸島市全体と聞かれても保護者は困るので、自分の学校のことを聞

いたほうが分かりやすい。

(B委員) アンケートの注意事項で(例)「ご家族内のどなたが書いても」は「書かれても」に改めたほうがよいのでは。

(D委員) 「アンケート調査については秘密を厳守しますので、ご迷惑をおかけすることはありません」とあるが、「このアンケートに限っては」に変えたほうがよい。「検討委員会以外では使用しません。」と入れたほうがよい。何月何日までにアンケート用紙を回収と大きく書いたほうがよい。保護者としてはそちらのほうがよいと思います。

(委員長) 「保護者の皆様へ」から4行目のところですが、「学校の規模によって、教育上や学校運営上で様々な影響が生じます」でどうか。参考のグラフを見た時に、中学校は減っていない。保護者が見た時にどんな印象を受けるのか。気になります。

(事務局) 中学校はこの後(平成35年度以降)が減っていきます。影響がどうしても小学校よりも遅く出ますので。

(E委員) グラフを見てすぐにそのように解釈できないのでは。

(事務局) アンケートを書いてもらうのに、情報が足りないのかなと思います。お子さんが通っている学校の状況がどのようにあるのか、全体像が分からない。糸島市全体の規模や配置の状況の、現在や未来の情報がもう少しあったほうがいいのかという気がします。適正配置という言葉も読んで伝わるのかどうか。

(委員長) 周知する情報がまだ足りないのではないか。

(事務局) このアンケートを答えていただくにあたっての基礎資料、糸島市の全体の状況や中学校の今後の推移など、事務局で検討をしてまた見ていただくという形でいいでしょうか。

(委員長) 続いて調査項目の検討に入ります。最初に問1になります。先ほど選択肢の数の問題がありました。

(F委員) 問1の中に、「クラス数」と「学級数」と2つの言い回しがあるので、どちらかにあわせたほうがよいのでは。

(E委員) クラス数について、例えば40人2学級よりも30人3学級の方がよいという意見も出るのでは。前提として、1クラス当たりの人数を決めておかないと、もう少し分けて10人や15人を1クラスにしたほうがよいと解釈してクラスをもっと多くしたほうがよいと意見が出てくると、意味が違ってくる。なので、学級の人数を少なくして学級を増やしたほうがよいということをとることもあるのではないか。クラスを増やせと言われても増やせない。

(B委員) 問5のうえにある前提条件、「国の基準では小学校の全学級数は、12学級以上18学級以下を標準とし」と学年ごとの学級編制の人数を一番上に持ってきたほうがよいと思います。あわせて保護者はよくわからない。そうしないと副委員長が言ったようにいろんな意見が出てくると思います。

(E委員) 尋ねる側と答える側の認識が一致しておかないと、答えにならない。

(事務局) 今言われたように、冒頭に前提の部分を、但し書きのように記載します。

(B委員) 中学校の問1-Aの選択肢8は「運動会や学習発表会」は「体育祭や合唱コンクール」に変えたほうがよいと思います。

(F委員) 小学校の問1-Aの選択肢2に「部活動等」とあるが、小学校には部活動はないので、「クラブ活動」に変えたほうがよいと思います。

(委員長) そうなると小学校の問1-Aの選択肢9はいらないとなりますか。

(F委員) そうですね。

(委員長) 問3と問4に移りたいと思います。

(A委員) 問4の選択肢にJRを入れてほしいです。福吉小学校はJRで通学している。

- 中学校の方の設問にはJRが選択肢で入っているので、同じでいいと思います。
- (委員長) 小学校では低学年と高学年では違うと思うが距離数は、徒歩で歩いての時間はどうか。距離数の後にどのくらいの時間かを書いてあったほうが分かりやすいのではないのでしょうか。
- (事務局) 歩行の速度は違うんですが、集団登校のケースもあるので、まずは国の基準でも小学校では概ね4km以内となっていて、何分とはしにくいのではないかと思います。国の方は逆に時間のほうを追加していて、概ね1時間以内としていて、今までの徒歩による登下校だけではなく、スクールバスの活用も検討するよう言っています。
- (D委員) 問4の選択肢が小学校と中学校で異なるが、集計する時は番号が一緒の方がいいのでは。
- (A委員) 中学校に合わせると2番目に自転車が入ってくるので、自転車を一番後ろにもっていったほうがいいのではないかと。
- (委員長) それでは問5及び6について、伺います。
- (A委員) 問6ですが、選択肢1の「学校規模(学級数)の適正化」とは何なのか分かりにくい。設問の「学校区の見直しや統廃合の検討しているのが糸島市の適正化の検討で、この適正化が何なのか分からない。文科省が言っている適正化に合わせるのが適正化なのか、糸島市で検討している適正化なのか、分からない。例えば、二丈中と福吉中が統廃合になっても、適正規模校にはならない。なので、適正化の意味が分からない。文科省の基準で小規模であっても、糸島市の判断基準で適正規模と認めれば、適正規模とみなす。適正化をみんなで検討できることとか、「適正化」のゴールが分からないです。適正化を考えるためのアンケートなので、適正化を検討するうえで何を大事にしますかということなのかと思って、具体的な項目がもう少しあったらいいなと思ったのですが。
- (事務局) 問5は保護者の問題意識として、どういうことを持っておられるかということ漠然とした聞き方になっているんです。今、言われるように検討委員会を立ち上げてここで検討していただいていますので、結果に対しての間ではなりません。今、保護者の方がどういった問題意識をもってあるのかということ伺いたと思います。
- (A委員) 単純に言うと児童数が多いとかになりますか。
- (事務局) 適正化という言葉を使わないほうがいいのではないかとことですよね。
- (E委員) 答えに適正化と書かれてもわからないと思う。
- (事務局) 配慮すべき項目として、1学級の人数とか、学級数など。
- (A委員) そちらのほう分かりやすいですね。
- (事務局) (学級数)で止めておけばよいのではないかとということになりますか。
- (A委員) そちらのほう分かりやすいかなと思います。
- (D委員) 教職員の配置状況などはどうか。学校規模に含まれると思うが。
- (事務局) あえて入れなかった。教員配置は市の判断ではどうにもできません。小規模校だけの特別配置はできないので、選択肢の中に入れなかったという背景があります。入れてしまうと、小規模校でも配置すればいいじゃないかという方向に行ってしまう恐れがありますので。
- (委員長) 問6で、「学校区の見直しや」のあとに「学校の」を入れたほうがいいと思います。
- (B委員) 選択肢2に「通学路の安全性や通学距離・方法」とあるが、分けたほうがいいと思います。
- (事務局) 短くても危険はあります。
- (事務局) 別の選択肢とします。

- (委員長) 問7と8になります。
- (A委員) 「2もっと多い方がよい」「3もっと少ない方がよい」の両方ですが、子供の本音で考えた時に、「友達がたくさんできる」というのが選択肢で入っていますが、小さい方が友達がたくさんできると思っている子供もいる。大規模校でも図書室に一人ぼっちでいるということを知ったりするので、人が多いと友達がたくさんという価値観が反映されているような気がして、子どもの本音を聞くには両方に同じ選択肢を入れたほうが良いと思う。多くないと達成できない、例えば、クラス替えなどは多くないとできないので多い方に入れてもいいとは思ったが、友達やゆとり、安心感は子供の考えによって異なるので。「活動の場が増える」も多くて部活がたくさんあるほうが活動の場が増えるということもあるので、それも多い方がよいの方に入れてもよいのかなと思います。
- (C委員) この学級数は、学年における学級数なのか、学級といっても小規模校によっては10人程度のところもある。そこに子供が在籍している時にどう感じるのか。非常に難しい。子供たちに1学年の学級数がいくつあったほうがいいのか尋ねることになりますか。
- (G委員) 子供は1クラスあたりの人数で考えると思います。
- (F委員) 人数が少ない学校では想像がしにくいかもしれない。自分が置かれている環境の中でしか考えられない。
- (E委員) 小学生に学年全体のことを考えさせるのは難しいのではないかな。
- (G委員) 親が質問をする仕方も難しいと思う。
- (C委員) 親と切り離して、学校の教員が丁寧に発問して、丁寧に答えさせたほうがより信憑性のあるアンケートになるのではないだろうか。中学生の保護者は難しいと思う。なので、学校で担任が聞いたほうが良いのでは。そちらのほうが小学校3年生でも説明できると思う。この学年にもっとクラスが増えたらどうだろうかと言ったほうがまだいいのではないかな。
- (E委員) 設問を親が理解できないのではないかな。
- (事務局) 確かに問7から流れているので、問7はクラス数についての問いになっていますので、基本はクラス数について考える答えという流れになっています。ですので、1クラスの人数が少ないから多い方がいいとかといった観点の答え方ではありません。クラス数の考え方を聞いてほしいというのが設問の趣旨になります。保護者の方にはよく読んでもらわないと勘違いされる恐れがあります。
- (G委員) 保護者の受け取り方も違うし、子供への質問の仕方も変わるだろうから、先生からの方がよいのではないのでしょうか。
- (事務局) 単級の子供たちに複数学級があったらといっても想像ができないと思います。
- (事務局) ここでは親子の相関は関係ないので、学校で指導を入れて子供の思いを引き出すほうが良いと思う。
- (事務局) 問7については切り離しをさせていただきます。
- (委員長) 問8についてはどうでしょうか。
- (E委員) 文科省のアンケートの標準はあるのか。
- (事務局) 標準例はありません。他の団体でアンケートを取ってありますので、それを参考にしながら事務局の方で作成したことになります。
- (E委員) アンケートの結果をそのまま鵜呑みしてよいか疑問が残る。質問を理解して回答してもらえるのか。
- (H委員) 今の現状を保護者がどう考えているのかと聞きたいわけですよね。そしたらこの内容で答えてもらって問題ないのでは。中身を難しく考えるからいろ

いろ出てくる。単純に今の状況はこうだからということでアンケートに答えてもらい、それを集計したものをまず見て、一般的にどういう考え方があるのかが分かればいいのではないかな。あまり細かいことを言わなくてもいいのではないのでしょうか。

(E委員) 今はいろいろと資料を見ながら検討していつているのでいいが、一般家庭で理解してもらえるかが疑問。ある程度、だれが見てもわかるようにしておかないといけません。

(H委員) まず全体的にどういう意見を持っているのかを集計するのが先決。それから個々の問題点に協議をすればいいのではと考えます。

(F委員) 「あなたの学校生活で、次のようなことがどれくらいあると思いますか」という聞き方になっているが、小学3年生に聞くとしたら、「あなたの学校説話について教えてください」で、「とても あまり いいえ」などが分かりやすいと思う。先ほどから学校でアンケートを取るという風になっているが、担任が説明すると思うが、「担任がていねいに勉強を教えてくれているか」については、「勉強がよく分かりますか」などがいいのでは。

(I委員) 子どもへの質問は保護者の意見としてのアンケートであっても参考になると思うのだが。

(事務局) 問8は保護者への質問にするということになりますか。

(事務局) 問8だけでしょうか。

(I委員) 問7も。

(事務局) 問7は、問1と基本的には同じ質問になります。問7は子供への質問になりますので、学校で聞いたらどうだろうかという風になっています。

(委員長) 問8だけ、保護者の意見を聞くということでもいいですか。

(事務局) 問8だけでしたら、重複する形にはなりませんので、保護者にもお聞きする形でもいいのかなと思います。

(委員長) 問7については学校で。問7は削除するのか。

(事務局) 保護者に配布するアンケートでは問7は削除します。学校でとるアンケートに問7と問8を追加するようにします。

(委員長) それでは最後の自由記述のところですがご意見はありますか。

(特になし)

(委員長) それでは学校関係者のアンケートになりますがご意見はありますか。

(B委員) 委員が言われたことと重複するが、「アンケート調査については秘密を厳守しますので、ご迷惑をおかけすることはありません」は、「数的に処理しますので、個人にご迷惑をおかけすることはありません」に変えたほうがいいと思います。

(C委員) 問3の選択肢2「学校によっては大きな問題が生じており」は具体的に聞かなくてもいいのか。選択肢3は「全市的に問題が生じており」となっている。選択肢2と3を選んだ人は具体的に書いてもらうのがいいのでは。

(委員長) よろしいですか。改めて整理してもらい、配布してもらって、また議論していくことにしたいと思います。それでは今日の協議はここまでとします。

4 その他

(1) 今後の進め方について

(事務局) 最後にもう一枚配布していきまして、今後の進め方ですがご意見をいただいたことを踏まえ、アンケートを整理してご確認いただき、アンケートを実際に取りたいと思います。1月中旬をめぐりに学校にお願いをして集計をしたいと考えています。この集計結果をもとに事務局で分析を行い、それが整い次第、第3回目の委員会を計画させていただきたいと思います。まずアンケー

『第2回糸島市学校規模適正化検討委員会 会議録』

トの結果を皆さんにお伝えする会議の場ということで、概ね2月中旬以降で設定したいと考えています。事務局案としては2月22日午後で考えています。差支えがあるようであれば、2月21日午前中でどうでしょうか。

(事務局) 2月21日午前10時からよろしいでしょうか。

(事務局) では、2月21日午前10時からということでお願いしたいと思います。正式な通知は改めてご案内します。これで第2回の検討委員会を終了いたします。

～15時00分閉会～